

## 第2章

# 被害の概要

※被害については、原則として平成28年9月30日現在の数値である。



## 第1節 人的被害

本災害による人的被害は、死者3名、負傷者6名（うち重傷者2名）である。

【人的被害の状況】

市町名	死者数	負傷者数	
		重傷者数	軽傷者数
栃木市	1		1
鹿沼市	1	1	
日光市	1	1	3
計	3	2	4

(死者3名の死因内訳)

- ・乗車していた車両が水没したため（栃木市：男性60代）
- ・住宅に土砂が流入して巻き込まれたため（鹿沼市：女性60代）
- ・雨水処理作業中に排水管に吸い込まれたため（日光市：男性20代）

## 第2節 住家被害

豪雨により河川の溢水や土砂崩れが発生し、多数の住家が被害を受けた。把握している被害は、11市5町で全壊24棟、半壊979棟、一部破損29棟、床上浸水1,140棟、床下浸水3,966棟である。

【住家被害の状況】

市町名	住 家				
	全 壊	半 壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
宇都宮市	1			38	67
栃木市	3	83	3	635	1,990
佐野市			1	1	1
鹿沼市	10	24	20	319	794
日光市	9	110	5	1	221
小山市	1	761		118	549
真岡市					1
大田原市					1
那須塩原市		1		2	18
さくら市					1
下野市				8	5
上三川町					15
益子町					2
壬生町				8	53
野木町				9	245
塩谷町				1	3
計	24	979	29	1,140	3,966

### 第3節 公共施設被害

#### 第1款 公共土木施設

公共土木施設の被害は、県西部を中心にほぼ県内全域で発生している。

9月6日から11日までの総雨量は、今市観測所の668.0mmが最大で、以下、五十里644.5mm、土呂部571.5mmの順となっている。

今回の豪雨による公共土木施設の被害は、約205億円であった。

【公共土木施設の被害の概要】 (単位：千円)

土木事務所名	県 所 管		市 町 所 管		合 計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
宇都宮	46	2,174,354	19	561,759	65	2,736,113
鹿 沼	134	4,979,246	26	693,413	160	5,672,659
日 光	85	2,819,527	29	411,137	114	3,230,664
真 岡	7	230,253	2	5,365	9	235,618
栃 木	81	3,891,004	35	763,680	116	4,654,684
矢 板	71	1,795,721	3	58,542	74	1,854,263
大田原	29	1,352,973	5	136,626	34	1,489,599
烏 山	6	246,427			6	246,427
安 足	9	230,660	2	3,971	11	234,631
下水道管理	1	7,436			1	7,436
公 園	6	151,949			6	151,949
計	475	17,879,550	121	2,634,493	596	20,514,043

※ 都市施設等の被害（鹿沼土木管内1箇所2,490千円、栃木土木管内2箇所79,585千円）は含まない。

## 第2章 被害の概要

### 1 河川

河川の被害は、利根川水系の一級河川を中心に発生し、特に黒川、思川、田川での被害が甚大であった。

河川の災害は419箇所、総額約164億円であった。

【県及び市町管理河川の被害状況】

(単位：千円)

土木事務所名	県 所 管		市 町 所 管		摘 要
	箇所	被害額	箇所	被害額	
宇都宮	38	2,035,735	8	149,511	
鹿 沼	126	4,823,272	14	321,066	
日 光	55	1,876,761	1	11,722	
真 岡	7	230,253	1	2,989	
栃 木	74	3,820,465	4	58,026	
矢 板	53	1,441,879	1	10,845	
大田原	22	1,119,741			
烏 山	6	246,427			
安 足	9	230,660			
計	390	15,825,193	29	554,159	

※ 矢板土木県所管には、ダム流木災の2箇所200,205千円を含む。

## 第2章 被害の概要

### 2 砂防設備

砂防設備の被害は、県西部を中心に発生し、特に宇都宮市の赤川、日光市の長畑川、行川、那須塩原市の箒川、蛇尾川での被害が甚大であった。

砂防設備の被害は、55箇所、総額約10億円の被害であった。

【砂防設備の土木事務所別被害状況】 (単位：千円)

土木事務所名	箇所	被害額	摘要
宇都宮	8	138,619	
鹿沼	3	98,248	
日光	18	372,696	
真岡			
栃木	5	35,159	
矢板	15	183,272	
大田原	6	207,566	
烏山			
安足			
計	55	1,035,560	

### 3 道路・橋梁

県管理道路の被害は、20箇所、約7億円の被害であった。

また、市町管理道路の被害は、51箇所、約9億円の被害であった。

県管理橋梁の被害は、3箇所、約2億円の被害であった。

また、市町管理橋梁の被害は、23箇所、約6億円の被害であった。

【道路の被害状況】 (単位：千円)

土木事務所名	県所管		市町所管		摘要
	箇所	被害額	箇所	被害額	
宇都宮					
鹿沼	5	57,726	5	85,307	
日光	12	570,070	23	357,770	
真岡			1	2,376	
栃木	2	35,380	18	373,927	
矢板					
大田原	1	25,666	4	120,181	
烏山					
安足					
計	20	688,842	51	939,561	

## 第2章 被害の概要

【橋梁の被害状況】

(単位：千円)

土木事務所名	県 所 管		市 町 所 管		摘 要
	箇所	被害額	箇所	被害額	
宇都宮			8	297,831	
鹿 沼			5	83,615	
日 光			5	41,645	
真 岡					
栃 木			3	130,609	
矢 板	3	170,570	2	47,697	
大田原					
烏 山					
安 足					
計	3	170,570	23	601,397	

### 4 都市公園

県営都市公園の被害は、6箇所、約1億5千万円の被害であった。

市町営都市公園の被害は、16箇所、約5億2千万円の被害であった。

市町都市施設等の被害は、3箇所、約8千万円の被害であった。

【都市公園及び都市施設等の被害状況】

(単位：千円)

土木事務所名	県 所 管		市 町 所 管		摘 要
	箇所	被害額	箇所	被害額	
宇都宮			3	114,417	
鹿 沼			3	205,915	都市施設等1箇所
日 光					
真 岡					
栃 木			10	262,934	都市施設等2箇所
矢 板					
大田原			1	16,445	
烏 山					
安 足			2	3,971	
公 園	6	151,949			
計	6	151,949	19	603,682	



第2款 土砂災害

土砂災害は9月9日から9月10日にかけて記録的な大雨となった県西部を中心に多く発生した。鹿沼市日吉地区ではがけ崩れにより1名の方が亡くなり、日光市芹沢地区では地区内の8溪流において同時多発的に土石流が発生し、地区唯一の避難経路である市道芹沢線が寸断されたことにより地区住民が一時孤立した。

【土石流等による主な被害状況】

河川名	被災市町	被災状況
箒沢	日光市	住家全壊1戸、半壊1戸、床上浸水2戸、国道121号が崩落し通行止
中滝中沢	日光市	ロープウェイ駅舎・駐車場に被害
坂本沢	日光市	住家全壊1戸、市道被災
白石川	日光市	倉庫全壊1戸、住家1戸及び水田に土砂流出 流出した土砂により主要地方道宇都宮今市線が通行止
芹沢	日光市	土石流が同時多発的に発生（下坪沢、下坪上沢、滝向沢、中坪下沢、中坪上沢、ウドン沢、田茂沢、芹沢） 住家全壊5戸、半壊2戸 市道の分断により住民（14戸25名）が一時孤立



被災状況（日光市藤原 箒沢）



被災状況（日光市中三依 芹沢）  
【国土交通省日光砂防事務所提供】

第2章 被害の概要

【がけ崩れによる主な被害状況】

市町名	地区名	危険箇所	法指定	被災状況
鹿沼市	日吉町	日吉	土砂災害特別警戒区域 急傾斜地崩壊危険区域	住家全壊1戸、半壊2戸、死亡1名
鹿沼市	日吉町	金山北	土砂災害警戒区域 急傾斜地崩壊危険区域	住家等被害
日光市	所野	広久保 I B	土砂災害警戒区域	住家全壊1戸
日光市	瀬尾	高百 I -A	土砂災害警戒区域	住家裏のがけが崩落
日光市	小百	宿 II C	土砂災害特別警戒区域	住家1戸に土砂流入
栃木市	臼久保	-	-	障害者支援施設に土砂流入
大田原市	片田	下山田	土砂災害特別警戒区域	住家1戸に土砂流入
佐野市	宮下町	鉢木沢	土砂災害警戒区域	住家1戸に土砂流入



被災状況（鹿沼市日吉町 日吉）



被災状況（日光市所野 広久保 I B）

【地すべりによる主な被害状況】

市町名	地区名	危険箇所	法指定	被災状況
那須塩原市	上塩原	赤川	-	住家1戸被害、一級河川赤川埋塞、市道被災



地すべり全景  
（那須塩原市上塩原 赤川）



地すべりによる河道埋塞状況  
（那須塩原市上塩原 赤川）

第3款 農林水産施設等

【農林水産施設等の被害状況】 (単位：千円)

区 分		箇所	被害額	摘 要
農 業	農地・農業用施設	1,641	4,800,000	
	農業用生産施設	128	491,192	畜産施設、水産施設含む
	共同利用施設（農協等）	2	36,692	
	その他	10	3,677	鳥獣侵入防止柵
	小 計	1,781	5,331,561	
林 業	治 山	159	3,884,900	
	林 道	202	695,800	
	自然公園施設	12	89,100	
	林産用施設	18	38,980	
	小 計	391	4,708,780	
合 計		2,172	10,040,341	

1 農地・農業用施設

農地・農業用施設において浸水等の被害が発生し、被害額は48億円に及んだ。

【農地及び農業施設の被害状況】 (単位：千円)

区分		数量		被害額
		箇所	面積 (ha)	
農地	田	960	299	1,185,000
	畑	26	127	79,000
小 計		986	426	1,264,000
農業用施設	農道	57	—	82,300
	水路	423	—	955,300
	頭首工	67	—	2,013,400
	ため池	5	—	93,000
	揚水機	94	—	316,000
小 計		646	—	3,460,000
関連施設	農業集落排水	9	—	76,000
合 計		1,641	426	4,800,000

## 第2章 被害の概要

### 2 農業用生産施設（畜産施設、水産施設含む）

パイプハウス等の農業用生産施設において浸水等の被害が発生し、被害額は約4億8,100万円に及んだ。

また、栽培きこの類施設において、県央部から県南部にかけて栽培施設の浸水被害が発生し、被害は3市17箇所、1,010万円に及んだ。

【農業用生産施設の被害状況】

（単位：千円）

施設の種類	被害状況									
	小破		中破		大破		全壊		計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
パイプハウス	2	245	8	2,074	2	2,260	33	47,031	45	51,610
鉄骨ハウス	5	13,427	7	80,483			7	150,587	19	244,497
農機具収納庫、や な、養殖池等	3	3,000	14	51,150	8	45,600	22	85,235	47	184,985
栽培きこの施設							17	10,100	17	10,100
計	10	16,672	29	133,707	10	47,860	79	292,953	128	491,192

### 3 共同利用施設（農協等）

JAしもつけ所有の共同利用施設において浸水被害が発生し、被害額は3,669万2千円に及んだ。

【共同利用施設（農協等）の被害状況】

（単位：千円）

被災施設	所在市町	所有者	被災概況	被害額
ライスセンター	栃木市	JAしもつけ	プラント浸水	27,290
共同育苗センター	栃木市	JAしもつけ	ボイラー及び播種機の浸水	9,402
計				36,692

## 第2章 被害の概要

### 4 林地崩壊

豪雨により県西部から県央にかけて林地崩壊が発生し、被害は7市2町124箇所、37億2,500万円に及んだ。

【林地崩壊の被害状況】 (単位：千円)

事務所名	箇所	被害額	摘要
県西環境森林事務所	88	2,834,000	
県東環境森林事務所	14	437,000	
県北環境森林事務所	4	267,000	
県南環境森林事務所	5	93,000	
矢板森林管理事務所	13	94,000	
計	124	3,725,000	



日光市岩崎（白石川）



鹿沼市笹原田（笹原田）



鹿沼市油田町（ナカノミヤ）



宇都宮市新里町（土平）



## 第2章 被害の概要

### 5 治山施設

豪雨により6市2町で治山施設が被災し、被害は35箇所1億5,990万円に及んだ。

【治山施設の被害状況】 (単位：千円)

事務所名	箇所	被害額	摘要
県西環境森林事務所	26	100,700	
県東環境森林事務所	4	22,700	
県北環境森林事務所	1	31,000	
県南環境森林事務所	3	4,500	
矢板森林管理事務所	1	1,000	
計	35	159,900	

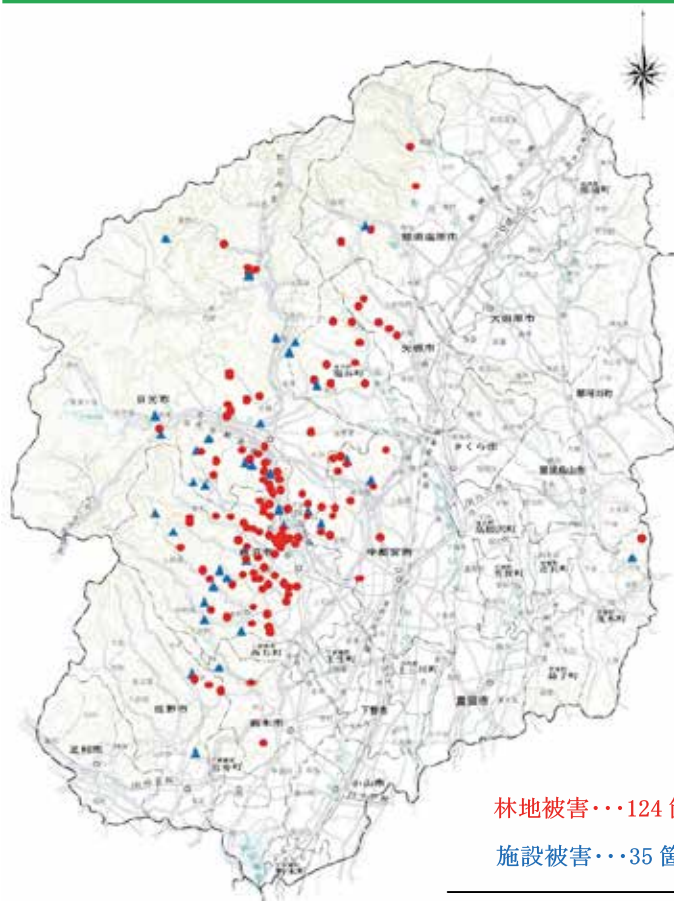


日光市七里 (高平)



日光市西川 (大栗沢)

平成27年9月関東・東北豪雨災害位置図【林地】



林地被害・・・124箇所

施設被害・・・35箇所

計・・・159箇所

## 第2章 被害の概要

### 6 林道

豪雨により、林道の舗装路盤の流出や法面の崩落等が発生し、8市町、202箇所が被災した。

【林道の被害状況】

(単位：千円)

事務所名	箇所	被害額	摘要
県西環境森林事務所	135	528,350	
県東環境森林事務所	26	59,900	
県北環境森林事務所	3	12,600	
県南環境森林事務所	10	44,200	
矢板森林管理事務所	28	50,750	
計	202	695,800	



日光市 林道西沢線



日光市 林道湯西川前沢線

## 第2章 被害の概要

### 7 自然公園施設

10 施設の歩道及び車道で 12 箇所の被害が発生した。豪雨による山からの出水のため、歩道では木橋の流失や防護柵の破損等の被害が発生し、車道では路面への土砂の流入や排水施設の破損等の被害が発生した。

【自然公園施設の被害状況】 (単位：千円)

区分	箇所	被害額	摘要
歩道	10	77,800	4市 8路線
車道	2	11,300	2市 2路線
計	12	89,100	



日光市鬼怒川鶏頂山線歩道（竜王峡歩道）木橋

### 8 林産用施設

日光市のわさび田の流失や土砂流入等の被害が発生し、被害は 18 箇所で 3,898 万円に及んだ。

【林産用施設の被害状況】 (単位：千円)

区分	箇所	被害額	摘要
木材加工 流通施設	12	10,280	
特用林産施設	6	28,700	わさび田
計	18	38,980	



第4款 福祉・医療施設

【福祉・医療施設被害の概要】

区 分	箇所	摘 要
医療施設	10	
高齢者施設	19	
障害者施設	1	
児童福祉施設	6	
薬局等	9	
計	45	

1 医療施設

医療施設については、4箇所の病院及び6箇所の診療所に被害があった。被害内容は、浸水や国道通行止めによる一時的な孤立等であった。

【医療施設の被害状況】

区 分	箇所	摘 要
病院	4	
診療所	6	
計	10	

2 高齢者施設

高齢者施設については、19箇所の被害があった。被害内容は、浸水によるものであった。

【高齢者施設の被害状況】

区 分	箇所	摘 要
軽費老人ホーム	1	
特別養護老人ホーム	4	
介護老人保健施設	7	
認知症高齢者 グループホーム	4	
老人デイサービス センター	2	
小規模多機能型 居宅介護施設	1	
計	19	

## 第2章 被害の概要

### 3 障害者施設

障害者施設については、1箇所の被害があった。被害内容は、土砂流入による建物一部損壊であった。

【障害者施設の被害状況】 (単位：千円)

区 分	箇所	金 額	摘 要
障害者支援施設	1	102,600	

### 4 児童福祉施設

児童福祉施設については、6箇所の被害があった。被害内容は、浸水によるものであった。

【児童福祉施設の被害状況】 (単位：千円)

区 分	箇所	金 額	摘 要
保育園	2	3,314	
児童厚生施設	4	17,291	放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点
計	6	20,605	

### 5 薬局等

薬局等については、9箇所の被害があった。被害内容は、浸水によるものであった。

【薬局等の被害状況】

区 分	箇所	摘 要
薬局等	9	



屋根まで土砂に埋没した「ひばり野学園」本体      押しつぶされた「ひばり野学園」作業棟  
【被災した障害者支援施設の様子】

第5款 文教施設

【文教施設被害の概要】 (単位：千円)

区 分	箇所	金 額	摘 要
公立学校	13	363,148	校舎・体育館等
幼稚園・ 認定こども園	6	93,028	
文化財	16	19,522	国・県指定、国選定及び国登録有形 文化財
社会教育施設	5	23,437	公民館、集会所等
社会体育施設	12	137,259	運動設備、プール等
計	52	636,394	

1 公立学校

県内の公立学校施設については、県及び4市が設置する13校（県1校、市12校）で被害があり、被害金額は、約3億6千万円であった。

特に、栃木市立部屋小学校、小山市立羽川西小学校、栃木県立栃木工業高等学校では、校舎、体育館、実習棟等の床上浸水により、建物の床板や学校設備の損傷等、大きな被害があった。

【公立学校の被害状況】 (単位：千円)

区 分	県 所 管		市 町 所 管		合 計	
	箇所	金 額	箇所	金 額	箇所	金 額
小学校			9	121,938	9	121,938
中学校			3	1,918	3	1,918
高等学校	1	239,292			1	239,292
計	1	239,292	12	123,856	13	363,148



小山市立羽川西小学校



栃木市立部屋小学校

【水没した学校施設の様子】

## 第2章 被害の概要

### 2 幼稚園・認定こども園

幼稚園・認定こども園については、6箇所の被害があった。被害内容は、浸水によるものであった。

【幼稚園・認定こども園の被害状況】 (単位：千円)

区 分	私 立		適 用
	箇 所	金 額	
幼稚園	5	91,468	
認定こども園	1	1,560	
計	6	93,028	

### 3 文化財

県内の文化財については、2市で国・県指定、国選定及び国登録有形文化財の計16件に被害があった。

【文化財の被害状況】

区 分	件 数	摘 要
国指定文化財	1	唐沢山城跡（佐野市）
国選定文化財	1	栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（栃木市）
県指定文化財	1	古久磯提灯店見世蔵（栃木市）
国登録有形文化財	13	五十畑荒物店店舗ほか12件（栃木市）
計	16	



【(国選定) 栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区】



【(国指定) 唐沢山城跡】

#### 4 社会教育施設

栃木市、鹿沼市、日光市、小山市の4市5施設に被害があり、被害金額は2,343万7千円であった。県有施設に被害は無かった。

【社会教育施設の被害状況】 (単位：千円)

区分	箇所	金額	摘要
県所有施設	—	—	
市町所有施設	5	23,437	公民館、集会所等の床上・床下浸水、雨漏りなど
計	5	23,437	

#### 5 社会体育施設

県内の社会体育施設については、県有施設1箇所及び5市町が設置するプールや運動場など11箇所で被害があり、被害金額は、約1億4千万円となった。

【社会体育施設の被害状況】 (単位：千円)

区分	箇所	金額	摘要
県有施設	1	—	大規模漏水による日光霧降アイスアリーナの臨時休館(9/10)
市町所有施設	11	137,259	浸水によるプール設備の故障 運動場への土砂流入・堆積等
計	12	137,259	

## 第4節 ライフラインの被害

### 第1款 水道施設

#### 1 断水等状況

本災害により県内6市町で断水等が発生し、約4万戸が影響を受けた。

【断水等の発生状況】

市町名	最大断水等戸数	摘要
栃木市	2,200戸	9/9～9/12
日光市	697戸	9/10～9/22
小山市	36,000戸	9/10～9/13
那須塩原市	940戸	9/10～9/15
下野市	4戸	9/10
塩谷町	110戸	9/9～9/11
計	39,951戸	

#### 2 水道事業者関係施設

水道施設の被害は県内7市町の14水道事業者の取水・浄水施設、配水施設等で約7億3千万円に達し、このうち、3市町4水道事業者が厚生労働省水道施設災害復旧事業の対象となった。

【水道事業者関係施設の被害状況】 (単位：千円)

市町名	事業数	箇所	被害額	摘要
宇都宮市	1	4	26,332	取水・浄水施設の損傷 配水管の損傷
栃木市	1	3	250,933	浄水施設の損傷 配水施設の損傷
日光市	8	16	27,214	取水・浄水施設の損傷 配水管の損傷
小山市	1	2	403,971	浄水施設の損傷
那須塩原市	1	2	15,000	取水施設の損傷
下野市	1	1	5,000	配水管の損傷
塩谷町	1	4	4,954	取水・浄水施設の損傷 配水管の損傷
計	14	32	733,404	

## 第2章 被害の概要

### 3 企業局関係水道施設

#### (1) 水道施設

北那須水道は、取水口、導水管、浄水場及び送水管に被害は発生していないが、那珂川の濁度上昇に伴い水道原水に異臭が発生したため、平成27年9月9日19時45分から9月10日7時20分まで取水を停止した。なお、この間の給水は、貯留水により継続している。

鬼怒水道は、取水場、導水管、浄水場及び送水管に被害は発生していないが、貯水施設である川治ダム（共有施設）で管理用道路の土砂崩れ及び取水施設である岡本頭首工（共有施設）で土砂吐けゲート上流側の土砂堆積等の被害を受けた。

#### (2) 工業用水道施設

鬼怒工業用水道は、浄水場内及び配水管に被害は発生していない。

### 4 下水道

流域下水道については、鬼怒川上流流域下水道（中央処理区）の東第2ポンプ場内において、機器が冠水により停止し下水の処理に支障が生じた。

公共下水道については、小山市において、大行寺のマンホールポンプの機器が冠水により停止し下水の処理に支障が生じた。また、横倉雨水幹線の吐口が河川の増水により河床洗掘が生じ、護岸が被災した。

【下水道施設の被害状況】

(単位：千円)

区 分	県 所 管		市 町 所 管		合 計	
	箇所	金 額	箇所	金 額	箇所	金 額
管路施設			2	17,769	2	17,769
ポンプ場施設	1	7,436			1	7,436
計	1	7,436	2	17,769	3	25,205

## 第2章 被害の概要

### 第2款 電気施設

#### 1 企業局関係電気施設

各発電所の電気設備等への直接の被害はなかったが、豪雨により発電所敷地内への土砂流入等の被害を受けた。

また、河川の増水の影響に伴い、9 発電所の内、板室、東荒川発電所を除く 8 発電所が運転停止となった。停止した発電所は、上流ダムからの放流等の影響が無くなり次第順次運転を再開したが、風見発電所においては頭首工ゲートに流木が堆積、足尾発電所においては放水口に土砂が堆積したため、それらの除去作業に時間を要したことから、全ての発電所の運転が再開できたのは、10 月 5 日 14 時 00 分となった。

なお、被害額（発電所停止に伴う減電額）は次のとおり。

【企業局関係電気施設の被害状況】 (単位：千円)

県営発電所名	運転停止期間	被害額	摘要
川治第一	9/9 13:06 ～ 9/16 14:40	3,829	
川治第二	9/9 15:01 ～ 9/25 16:13	1,508	
風見	9/9 11:58 ～ 10/2 16:27	8,566	
深山	9/9 8:11 ～ 9/11 11:15	179	
足尾	9/9 10:00 ～ 10/5 14:00	2,109	
木の俣	9/9 8:27 ～ 9/10 19:37	191	
小網	9/9 11:35 ～ 9/24 14:59	1,371	
計		17,753	

#### 2 東京電力株式会社関係電気施設

豪雨の影響により、東京電力株式会社が所有する水力発電所や鉄塔、配電線などに下記をはじめとする被害が発生した。

- ・ 水力発電所の一部設備（発電機等）水没 3箇所（鬼怒川、道谷原、赤川）
- ・ 土砂崩れによる鬼怒川発電所構内の一部設備の倒壊及び送電線（下滝線）の鉄塔 1基腕金損傷
- ・ 土砂崩れによる送電線（三依線）の鉄塔 1基傾斜及び断線
- ・ 電柱被害（流出・折損・倒壊・傾斜） 73基
- ・ 高圧線・低圧線の断線 34本
- ・ 変圧器・開閉器の故障 10個

上記被害により、県内各地で停電が発生し、最大で 6,700 軒あまりが停電となったが、東京電力株式会社の復旧作業により、9 月 14 日までには避難指示地域を除く地域で復旧し、9 月 21 日に一般家庭の停電状態が解消された。



## 第2章 被害の概要

【停電の状況】

(単位：軒)

市町名	9/9 16:30	9/9 20:00	9/10 0:00	9/10 10:30	9/10 15:00	9/11 9:00	9/14 8:30
大田原市	100						
鹿沼市	700	300	1,900	800			
那須塩原市	100			100	100		
日光市	600		100	600	600	700	30
栃木市			300				
宇都宮市				100			
那須町					100		
計	1,500	300	2,300	1,600	800	700	30

## 第3款 ガス施設

### 1 LPガス

河川の氾濫及び土石流により民家に設置されていたLPガス容器等が流失した。

【LPガス施設の被害状況】

市町名	被害を受けた 容器の本数	被害を受けた メーターの個数
鹿沼市	3	2
日光市	2	1
計	5	3

## 第2章 被害の概要

### 第5節 交通関係の被害

#### 1 鉄道

鉄道では9月9日からJR宇都宮線等で運転見合わせ等が発生した。

東武宇都宮線では姿川第2避溢橋梁の橋台および橋桁が流失、東武日光線では線路内へ土砂流入等、鬼怒川線では盛土流出等が発生した。

野岩鉄道は、線路への土砂流入や東京電力送電線断線による停電が発生し、全線で運休した。

#### 【鉄道関係の被害状況】

事業者名	路線名	運転見合わせ区間	運転見合わせ期間
JR 東日本	宇都宮線	① 宇都宮～東京、湘南 新宿ライン	① 9月9日16:46～ 一部の列車運転見合わせ
		② 宇都宮～黒磯	② 9月9日20:04～ 一部の列車運転見合わせ
		③ 黒磯～東京、湘南新 宿ライン	③ 9月10日 一部運休、遅れが発生
	烏山線	① 宇都宮～烏山	① 9月9日18:35～ 運転見合わせ、バス代行輸送
② 宇都宮～烏山		② 9月10日 終日運転見合わせ、バス代行輸送	
日光線	① 今市～日光	① 9月9日16:55～ 運転見合わせ、バス代行輸送	
	② 宇都宮～日光	② 9月10日～11日 終日運転見合わせ、路線バスへ振 替輸送	
	③ 宇都宮～鹿沼	③ 9月12日 終日運転見合わせ、路線バスへ振 替輸送	
両毛線	① 栃木～佐野	① 9月9日18:42～ 運転見合わせ	
	② 小山～高崎（上り）	② 9月10日初電～ 10日18:02まで 運転見合わせ	
	③ 小山～高崎（下り）	③ 9月10日初電～ 10日19:09まで 運転見合わせ	
	④ 小山～桐生	④ 9月11日 運転本数を減らし、減速運転	

JR 東日本	水戸線	① 小山～下館 ② 小山～下館	① 9月9日 20:06～ 運転見合わせ、バス代行輸送 ② 9月10日 終日運転見合わせ、バス代行輸送 なし
東武鉄道	宇都宮線	① 新栃木～東武宇都宮 ② 安塚～西川田	① 9月9日～10日までバス代行輸送 ② 安塚～西川田間の姿川第二避溢橋梁の橋台及び橋桁の流失のため、9月9日～10月6日までバス代行輸送 ※その他区間は折り返し運転
	日光線	① 南栗橋～東武日光 ② 新鹿沼～下今市	① 9月10日～11日まで南栗橋～新栃木間バス代行輸送 ② 新鹿沼～北鹿沼間の盛土流出及び電路柱の倒壊、下小代駅構内線路への土砂流入のため、9月9日～18日までバス代行輸送 ※その他区間は折り返し運転
	鬼怒川線	① 下今市～新藤原	① 新高徳～小佐越間の盛土流出のため、9月9日～18日までバス代行輸送（路線バスに振替）
	佐野線	① 館林～葛生	① 9月9日～10日までバス代行輸送
野岩鉄道		① 新藤原～会津高原尾瀬口（全線） ② 上三依塩原温泉口～会津高原尾瀬口間	① 9月10日始発から～9月18日 14:00 線路への土砂流入、東京電力送電線断線による停電のため運休 ② 9月18日 14:00～12月10日 一部運転再開したが、上三依塩原温泉口～会津高原尾瀬口間で電車の運休、代わりにディーゼル車で当該区間を運行
真岡鐵道		下館～茂木（全線）	9月10日終日運休

## 第2章 被害の概要

### 2 路線バス

河川の水位上昇による橋梁の通行止め、道路冠水、土砂崩れの影響により、一部の路線において、運休、迂回運行を余儀無くされた。

【路線バス関係の被害状況】

事業者名	路線名	運転ダイヤ変更区間	運転ダイヤ変更期間
関東自動車	荒針・新鹿沼線	山崎街道入口 －鹿沼営業所	9月10日終日運休
	大谷・立岩線	中丸公園前－ 立岩	9月10日終日運休
	楡木線	赤羽根－楡木 車庫前	9月10日～13日終日運休 9月14日終日迂回運行
	日光東照宮線 今市車庫線	石那田－日光 東照宮	9月10日終日運休
	宇都宮駅東口・ベ ルモール線	バイパス十文 字－陽東6丁 目	9月10日終日運休
	栃木駅・國学院線	全区間	9月10日終日運休
JRバス関東	作新学院前・茂木 線 作新学院前・芳賀 バスターミナル線 作新学院前・芳賀 温泉ロマンの湯線 東武宇都宮駅・芳 賀温泉ロマンの湯 線	全区間	9月10日減便運行
	那須塩原駅・塩原 温泉バスターミナ ル線	もみじ谷大吊 橋－塩原温泉 バスターミナ ル	9月10日始発～8:00 運休
		全区間	9月10日 8:00～16:00 運休
東野交通	和久線 上野団地・岡本駅 線	宇都宮リハビ リテーション 病院前－御幸 町	9月10日 18:00～11日 8:00 迂回運行

第2章 被害の概要

東野交通	東図書館・平出工業団地線 鑑山・海星学院線 ベルモール・海星学院線	バイパス十文字ーベルモール前	9月10日18:00～20:00 迂回運行
	氏家駅前・馬頭車庫線 フィオーレ喜連川・喜連川温泉線	日野町ー御嶽神社前	9月11日終日迂回運行
東武バス日光	湯元温泉線	全区間	9月9日終日運休
	霧降高原線 大笹牧場線	霧降の滝ー大笹牧場	9月10日午前運休
	湯西川線	全区間	9月10日午前～12日終日運休
日光交通	湯西川線 鬼怒川線	全区間	9月10日午前～12日終日運休
		龍王峡入口ー湯西川温泉	9月13日～30日迂回運行
	鬼怒川線	鬼怒川公園駅ー鬼怒川温泉駅	9月13日～30日迂回運行

## 第2章 被害の概要

### 3 高速道路・有料道路

高速道路は東北自動車道の佐野藤岡 IC～岩舟 JCT 間の上り線で土砂崩落 1 か所、栃木 IC～鹿沼 IC の下り線で土砂崩落 2 箇所が発生した。

有料道路は日光宇都宮道路で土砂流出 2 箇所、日塩有料道路は土砂流出 5 箇所、法面崩落 3 箇所、倒木 6 箇所等発生した。

【高速道路・有料道路の被害状況】

道路名	通行止区間	理由	通行止期間
東北自動車道	栃木 IC～佐野藤岡 IC(上下線)	雨	9/9 21:01 ～ 9/11 0:25
	栃木 IC～鹿沼 IC(下り線)	災害	9/9 21:57 ～ 9/11 0:25
	鹿沼 IC～栃木 IC(上り線)	雨	9/9 22:06 ～ 9/11 0:25
	宇都宮 IC～鹿沼 IC(上下線)	雨	9/10 1:10 ～ 9/11 0:25
北関東自動車道	岩舟 JCT～佐野田沼 IC(東西)	雨	9/9 17:10 ～ 9/11 0:25
	栃木都賀 JCT～宇都宮上三川 IC(東西)	雨	9/10 5:35 ～ 9/11 0:25
	宇都宮上三川 IC～桜川筑西 IC(東西)	雨	9/10 6:45 ～ 9/11 0:25
日光宇都宮道路	宇都宮 IC～日光 IC(上下線)	雨	9/9 23:15 ～ 9/10 17:00
	日光 IC～清滝 IC(上下線)	雨	9/9 23:15 ～ 9/11 15:00
宇都宮鹿沼道路	なし		
日塩もみじライン	起点(日光市)～塩原料金所(上下線)	災害	9/9 22:00 ～ 9/17 15:00
	塩原料金所～終点(那須塩原市)(上下線)	災害	9/9 22:00 ～ 9/15 12:00
日塩龍王峡ライン	なし		
鬼怒川有料道路	なし		



日塩有料道路 土砂流出状況



日塩有料道路 復旧作業状況

## 第6節 その他の被害

## 第1款 農林水産業

## 1 農作物

農地の浸水害などにより、農作物の被害は18億5,229万5千円に及んだ。

また、栽培きこの類については、県央から県南部にかけてホダ木、菌床の流失被害が発生し、被害は2市2箇所ですべて295万5千円に及んだ。

【農作物の被害状況】

作物名	被害程度別面積 (ha)						被害金額 (千円)
	30%未満	30~50%	50~70%	70~90%	90~100%	計	
水稲	1,822.6	320.0	166.1	31.5	407.9	2,748.1	922,704
いちご	44.4	19.5	4.4	8.9	8.3	85.5	276,993
にら	26.7	3.4	9.3			39.4	181,841
トマト	16.3	8.6	0.4	1.4	1.0	27.7	136,591
大豆	90.6	88.0	37.6	5.0	22.2	243.4	68,064
なす	8.7	2.4	0.1	0.8		12.0	47,298
ほうれんそう	0.2	7.0			1.6	8.8	23,679
きゅうり	5.0	2.5		0.8	0.1	8.4	21,877
その他の野菜類	27.1	10.9	2.6	3.6	6.5	50.7	72,813
花き類	0.8	0.2	0.3	0.7	1.2	3.2	65,776
その他の穀類	9.6	86.7	75.9	53.2	17.1	242.5	27,715
果樹		1.9			0.5	2.4	5,251
飼料作物	8.0	1.0			2.6	11.6	1,693
原木しいたけ (施設)			0.1			0.1	865
菌床しいたけ (施設)					0.1	0.1	2,090
合計	2,060.0	552.0	296.8	105.8	468.9	3,483.7	1,855,250

※ 小数点以下の処理により、合計値と各項目を足した値が一致しない場合がある。

## 第2章 被害の概要

### 2 林産物

その他林産物では、日光市のわさびにおいて苗の流失やわさび田への土砂流入等の被害が発生し、被害は1,905万円におよんだ。

【林産物の被害状況】 (単位：千円)

区 分	被害数量	被害額
その他林産物	わさび 3,510kg	19,050
計		19,050

### 3 水産物

水産物では、思川流域で釣り堀からますの流出や、食用あゆ等の被害が発生し、被害額は約16万円におよんだ。

【水産物の被害状況】 (単位：千円)

魚類別	被害匹数	被害額
ます (稚魚含む)	50	4
あゆ (稚魚含む)	520	156
計	570	160

### 4 畜産物

畜産物では、県内各地で畜舎への浸水・土砂の流入や生乳の廃棄等の被害が発生し、被害額は約1,270万円におよんだ。

【畜産物の被害状況】 (単位：千円)

家畜別	被害頭羽数	被害額
豚	240	5,040
肉用牛	1	531
乳用牛	8	1,962
ブロイラー	900	27
採卵鶏	3,929	3,654
生乳	—	1,494
計	5,078	12,708



第2款 商工業等

1 観光関係

豪雨による河川の増水や土砂崩れにより、宿泊施設内への土砂の流入や温泉施設の崩落等の建物被害が発生した。しかし、事前に避難誘導がなされていたことにより、人的被害はなかった。

また、温泉地へ通じる道路への土砂流入や路面の崩落等による通行止めにより、一時的に、川治温泉地区や湯西川温泉地区の観光地が孤立する状況となった。

【観光関係の被害状況】 (単位：件)

	浸水被害等	建物損壊
観光施設等	11	1

2 民間企業

栃木市、鹿沼市、日光市、小山市、那須塩原市など県内各地において、事務所・工場・店舗等への床上・床下浸水や河川氾濫等による建物損壊など、豪雨による直接被害や操業停止等による売上げ減少等の影響があった。

【民間企業の直接被害の状況】 (商工団体等の報告による) (単位：件)

被害状況	件数
浸水被害	197
建物損傷	48
車両・商品被害	8
計	253



(鹿沼市内の工場損壊被害)

## 第2章 被害の概要

### 3 公営企業所有施設

#### (1) 栃木県民ゴルフ場

栃木県民ゴルフ場は、コース全面が冠水し、コース上の土砂や流木の堆積、バンカー砂の流出、カート道路の剥離等の被害が発生したため、平成27年9月10日から平成27年9月19日まで臨時休業、平成28年9月20からはアウト9ホールで、平成27年9月26日から平成27年10月31日までは18ホールで復旧工事をしながら営業した。建物被害や人的被害はなかった。

#### (2) 本町合同ビル

本町合同ビルの被害はなかった。

### 4 砂利・岩石採取場等

砂利採取場における法面の崩落や、採石場における残壁の崩落及び大谷石採取場跡地の立坑においてずれ込みや崩落が発生した。

また、休廃止鉱山において、pH調整装置が倒壊し、一時排水基準を超える坑廃水が未処理のまま場外に流出した。

【砂利・岩石採取場等の被害状況】

区 分	箇所
砂利採取場	3
岩石採取場	1
大谷石採取場跡地	4
休廃止鉱山	1
計	9

## 第2章 被害の概要

### 第3款 文教関係

#### 1 教科書

下記のとおり、児童・生徒所有の教科書に被害が生じた。

【教科書の被害状況】

(被害額の単位：千円)

区 分	県所管			市町所管			計		
	校数	冊数	被害額	校数	冊数	被害額	校数	冊数	被害額
小学校	-	-	-	11	159	53	11	159	53
中学校	0	0	0	7	80	41	7	80	41
高等学校	3	297	359	-	-	-	3	297	359
中等教育学校	0	0	0	-	-	-	0	0	0
特別支援学校	0	0	0	-	-	-	0	0	0
計	3	297	359	18	239	94	21	536	453

#### 教科書の被害状況

##### ○市町（公立小・中学校）

栃木市：小学校2校（39冊）、中学校2校（13冊）

鹿沼市：小学校4校（31冊）

日光市：小学校2校（13冊）、中学校2校（17冊）

小山市：小学校3校（76冊）、中学校3校（50冊）

##### ○高等学校

栃木県立栃木工業高等学校（281冊）

国立小山工業高等専門学校（6冊）

私立高等学校（10冊）

## 第2章 被害の概要

### 第4款 その他の被害

#### 1 公営住宅

##### (1) 県営住宅

今回豪雨による県営住宅への被害は無かった。

##### (2) 市町営住宅

【市町営住宅の被害状況】 (単位：千円)

住宅名	被害金額	備 考
大原市営住宅	9,147	EV 機械等 (1 基) の浸水 (日光市)
押切市営住宅	6,285	床上浸水による (6 戸) 被害 (小山市)
計	15,432	

#### 2 廃棄物処理関係施設

一般廃棄物及び産業廃棄物の処理施設において、施設稼働に支障を来す被害は無かった。

## 第2章 被害の概要

### 3 災害廃棄物

水に浸かった家電、家具、畳など、県内 11 市町において、約 1 万 300 トンの災害廃棄物が発生した。

【災害廃棄物の発生状況】

市町名	発生量(t)	市町名	発生量(t)
宇都宮市	103.0	那須塩原市	14.1
栃木市	5,341.7	下野市	26.0
佐野市	2.2	上三川町	0.2
鹿沼市	1,174.5	壬生町	100.1
日光市	614.3	野木町	5.6
小山市	2,915.5	計	10,297.2

【災害廃棄物仮置場】



## 第2章 被害の概要

### 4 除染除去土壌等の流出等

放射性物質汚染対処特措法に基づく除染に伴い発生した除去土壌等について、日光市が管理する保管場所2箇所が被災し、除去土壌等を収納した土のう袋の一部が流出・落下した。

同市の小百川桜公園では、隣接する小百川の増水に伴い護岸が洗掘されたことにより421袋が流出した。また、月山休憩所では、法面の崩落により8袋が付近に落下したが、下方の河川への流出はなかった。

なお、被災現場における空間線量率、下流河川等の放射能濃度を測定した結果、被災前と同等の値であることが確認された。



【流出箇所（被災前）】



【流出箇所（被災後）】



【落下箇所】